

### Honda 従業員チーム「TEAM YAMATO」が、スーパー耐久シリーズでシリーズチャンピオンを獲得

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2025 Empowered by BRIDGESTONE（以下、スーパー耐久シリーズ）※<sup>1</sup> に参戦する Honda の従業員チーム「TEAM YAMATO（チームヤマト）」が、ST-5F クラスのシリーズチャンピオンを獲得しました。



TEAM YAMATO は、Honda が人材育成施策の一環として認定するチームで、従業員が主体となって技術研鑽やレース活動に取り組んでいます。ドライバーやメカニックは Honda の四輪車開発に携わる従業員が有志で参加。終業後や休日を活用して車両整備やレース運営を行っています。

スーパー耐久シリーズには、排気量 1,500cc 以下の前輪駆動車により争われる ST-5F クラスに「FIT RS (GK5)」で参戦。2025 年シーズンはモビリティリゾートもてぎ（栃木県芳賀郡茂木町）で行われた開幕戦と鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）で行われた第 2 戦での優勝を含む、6 戦中 5 戦で表彰台を獲得し、1965 年の創部から 60 周年を迎えた節目の年に、チームとして初となるシリーズチャンピオンを獲得しました。

※<sup>1</sup> 主催「スーパー耐久未来機構（STMO）」

## ■TEAM YAMATO について

1965 年、Honda の研究開発子会社である株式会社本田技術研究所において、人材育成を目的とする特別自己啓発活動グループとして創部。チーム名は拠点である埼玉県和光市の旧地名「大和町（やまとまち）」に由来。これまで、ジュニアフォーミュラである FL500、初代シビックによる富士マイナーツーリング・シリーズ、全日本ツーリングカー選手権、スーパー耐久シリーズ、CIVIC、INTEGRA、FIT、N-ONE のワンメイクレース、さらにはダートトライアルまで、Honda 車を用いて幅広いカテゴリーでレース活動を行っています。

## ■スーパー耐久シリーズについて

市販車をベースとした車両による耐久レース。通常は 3～5 時間のレースが中心ですが、毎年、富士スピードウェイ（静岡県駿東郡）では国内で唯一となる 24 時間耐久レースも行われます。車両は排気量や駆動方式に応じて全 10 クラスに分類されます。

2025 年シーズン、Honda からは TEAM YAMATO を含め計 3 チームが参戦しました。車両開発を目的とした ST-Q クラスに株式会社ホンダ・レーシング（以下、HRC）が「CIVIC TYPE R（FL5）」をベースとした「CIVIC TYPE R HRC Concept」で参戦。HRC が開発したエンジンを搭載するなど、スーパー耐久シリーズのレースフィールドを生かした技術開発を進めています。

また、ST-2 クラス（排気量 2,400～3,500cc の 4 輪駆動および前輪駆動車両）には、TEAM YAMATO と同様に人材育成を目的とした Honda 従業員チーム「Honda R&D Challenge (HRDC)」が「CIVIC TYPE R（FL5）」※2で参戦。11 月 16 日（日）に富士スピードウェイで開催された最終戦となる第 7 戦ではクラス優勝を果たしました。

このほかにも複数のカスタマーチームが Honda 車で参戦しています。

※2 ターボ係数 1.7 の適用により、CIVIC TYPE R の排気量は  $2,000\text{cc} \times 1.7 = 3,400\text{cc}$  相当